

子どもを対象とした非認知的能力を向上させる体験プログラムの開発

Keyword：非認知的能力、価値の発見、企画立案

主に幼少期～小学校の子どもに向けて、非認知的能力を向上させる体験プログラムの開発を行っています。

- ・体験プログラムを実施する場所・時期などから、大枠のテーマやモチーフを決定します。
- ・身近にあるモノやコトを対象に、いままで見ていなかった面白さや可能性、価値を発見します。
- ・発見した価値をどのような体験として子どもたちに提供すればよいか検討し、企画立案します。
- ・プログラムに必要な制作物（グラフィック、プロダクト等）のデザインを行います。
- ・参加者の行動観察、ヒアリング、アンケート調査などから体験プログラムを評価します。

これまでの実績



クッキングオーケストラ 2018
静岡県静岡市（グランシップ）



わくわくフレーム 2017
静岡県静岡市（グランシップ）



アニマルメガネ 2018
静岡県静岡市（日本平動物園）

研究のポイント

企画立案する際、実施する場所や時期など、現状のあらゆる情報を収集・把握することで問題点や課題、可能性などを引き出します。私たちが日常的に接しているモノやコトについて、見え方・捉え方の異なる方法で子どもたちに提供することで、改めてそのモノやコトについて考えるきっかけを提供しています。子どもたちの非認知的能力を向上させるとともに、体験プログラムを提供する立案者としてデザイン思考を活性化させながら開発に取り組んでいます。



川原崎 知洋
学術院教育学領域
美術教育系列
准教授

■ 相談に応じられる関連分野

- ・造形体験プログラムの企画立案
- ・デザイン思考を用いたプログラム開発
- ・ブランディングなどデザイン思考による戦略

■ その他の社会連携活動

- ・静岡県広報協会 広報コンクール審査員（2018～）
- ・静岡県景観学習推進WG 副座長（2017～）
- ・グランシップこどものくに 企画監修（2013～）
- ・しずおか信用金庫夢デザインコンテスト 審査委員（2013～）
- ・ホスピタルプレイスペシャリスト（HPS）養成講座 デザイン領域担当講師（2013～）